

真庭市立図書館における 子どもの読書活動推進の取り組み



令和4年度岡山県子ども読書活動推進連絡会

真庭市ってどんなところ？

岡山県北中部に位置しており、岡山県で一番広い面積

面積828.53km²
人口41,442人（令和4年度6月現在）

平成17年の合併により5町4村が合併



真庭市の図書館って？

- 中央（ちゅうおう）図書館
- 北房（ほくぼう）図書館
- 落合（おちあい）図書館
- 久世（くせ）図書館
- 美甘（みかみ）図書館
- 湯原（ゆばら）図書館
- 蒜山（ひるぜん）図書館

- 自動車文庫1台

2018年に旧蒜山図書館が中央図書館となる



真庭市図書館みらい計画（真庭市図書館基本計画・子ども読書活動推進計画）

- 計画策定委員会での市民の代表や学識経験者による議論
- 全館での「図書館そだて会議」での話し合い

により令和3年5月に策定

「子どもに限らず市民の誰もが自主的に読み、知ることのできる環境を整え、読書活動、知的探究、課題解決を支援する」

→ 子ども読書活動推進計画を内包



真庭市図書館みらい計画

使命

真庭市立図書館は、市民や団体による地域自治の拠点として積極的な役割を果たす

真庭市みらい計画 5つの行動の柱

公共図書館としての存立基盤の整備

子どもの学びへの能動的な貢献（子どもの読書活動推進）

地域資源の再評価と新たな価値の創出

知的探究に応えるコンテンツ戦略

市民が繋がる地域交流拠点創出

子ども学びへの能動的な貢献（子どもの読書活動推進）

～ 市民とつながりながら ～

まにわとしょかんチャンネル

コロナ禍でイベントが制限

ボランティアからの発案でYouTubeチャンネル
「まにわとしょかんチャンネル」を開設

工作やからだを動かすあそび、読み聞かせや昔話の語りなど親子で楽しめるオリジナル動画を7本制作・配信。



絵本の読み聞かせ講座

プロのアナウンサーを講師に招き、
絵本の読み聞かせ講座を開催

基礎編、応用編、実践編の全4回連続講座
参加者は延べ85人

→ 修了後、放課後児童クラブで読み聞かせ



地域施設とのイベント

支援型放課後デイサービスとの共催イベント
「たまねぎ祭り」

- ・ 子どもたちが作った玉ねぎを販売
- ・ 制作ワークショップ
- ・ 子どもたちが選書した本を展示し貸出
- ・ 子どもたちが作った玉ねぎを使った料理を販売する屋台の出店

→ 図書館での職場体験に発展



子ども学びへの能動的な貢献（子どもの読書活動推進）

～ 学校や地域への支援 ～

学校図書館への司書の派遣

令和2年度より学校司書を全校配置

学校図書館蔵書のデータベース化を昨年
から2年間かけて実施中

令和5年度中に全校に蔵書管理システムを導入
予定



データベース化のようす

図書館見学の受け入れ

市内小学校、中学校や高校からの見学受け入れ

- 内容
- ・ 館内（バックヤード含む）案内
 - ・ 映像シアターでの利用教育
 - ・ 図書館クイズ
 - ・ DVD鑑賞

など

図書館と学校間の往復のバスを手配
令和3年度は市内11校、2園から308人参加



子ども向けイベントの開催

- 百科事典や図鑑などの使い方を楽しむイベント
 - ・ 「ひゃっか王からの挑戦状」
 - ・ 国旗当てクイズ、
 - ・ キッズテラスの植物や虫しらべ
- 季節の展示、ミニ工作
- ボランティアによるおはなし会
- こども向けDVD上映会
- 全館共通イベント
「覆面ブックス」「なぞとき図書館」
「としょかんビンゴ」「ブックじ」



ひゃっか王からの
挑戦状

国旗当てクイズ



移動図書館による支援

図書館から遠い地域へ
自動車文庫「ブックるんまにわ」の巡回

巡回先（28カ所）

- ・ 小学校
- ・ 放課後児童クラブ
- ・ 不登校の中学生のための教育支援センター
- ・ 公民館 など



図書館実習の受け入れ

昨年度、司書課程の図書館実習を受け入れ
真庭出身で県外の大学に通う2名の学生



小学校などへの配本事業

図書館の本を定期的に利用したいという声に応えて、市内小学校などに団体貸出を実施

月に1度、図書館職員が本を入れ替えに伺う

昨年度、中央図書館からは小学校や公民館など
11団体へ約7,000冊の配本を行った

※地区図書館でも実施



児童書の充実

中央図書館では、図書館資料の年間購入冊数の
45%以上児童書が占めている

学校支援用の児童書も充実させている



ご清聴ありがとうございました

